



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 390

Januar 2024

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部内

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Yahata-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

新年ご挨拶

NPO 法人神戸日独協会会長 栢田 義一

2024年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。新しい年が協会や会員の皆様にとって素晴らしい年になりますように心より祈念しております。

本年は新年早々に「能登半島地震」が発生し、多難な年明けとなりました。石川・新潟の各日独協会の皆様にはお見舞いを申し上げます。

「能登半島地震」の被害映像を目にして、29年前の神戸での大地震当時を思い出された会員の方も多いでしょう。当時弊協会も事務所の崩壊、多くの会員の被災等々計り知れない大打撃を受けました。日本とドイツの各地日独協会・独日協会から賜りましたお見舞いとご支援には、今でも心からの感謝を忘れずにあります。被災地の早き復興を心より祈念しています。

昨年は弊協会にとって大地震時に次ぐ大きな変革の年でした。長きに渡った「コロナ禍」の影響を受けて主として財政上の問題から、60年余り神戸国際会館に構えていた事務所を移転しました。

移転後もお蔭様にて従前のように「ドイツ語講座・ドイツ文化教室」及びビアフェスト・クリスマス祝賀会等の「主催行事」及び「会員によるサークル活動」を行ってきました。これも会員をはじめ日独交流に関心を持つ方々のご協力とご支援のお蔭様と厚く感謝をしています。

日独間を始め国際交流は「コロナ禍」以前に回復してきました。本年もロシアのウクライナ侵攻、イスラエルを中心とした紛争の激化、「陰謀論」に影響された民主主義の危機、気候変動による干ばつ・森林火災・大洪水の発生など全世界的に政治・経済・社会情勢は大きな不安を抱え、これらはしばらくは収束しそうにはありません。このような時代にこそ「国際理解と国際協力」の真価が発揮されるでしょう。そのためには情報を正しく受信し、正しく発信することが重要です。ドイツはヨーロッパの中心国ですので、まずはドイツを通じて今のヨーロッパを理解しましょう。協会はドイツとヨーロッパ理解のための機会をこれまで以上に提供していきます。本年も会員皆様のご理解・ご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

Neujahrsgruß

Yoshikazu Masuda,

Präsident der Japanisch-Deutschen Gesellschaft, Kobe

Zu Beginn des Neuen Jahres 2024 möchte ich hiermit der Gesellschaft und allen ihren Mitgliedern wünschen, dass es ein wunderbares neues Jahr werde, und an dieser Stelle auch sofort den Mitgliedern der Japanisch-Deutschen Gesellschaften in Ishikawa und Niigata unser herzlichstes Mitgefühl aussprechen.

Die Bilder der Schäden erinnern viele von uns an das große Erdbeben in Kobe vor 29 Jahren. Viele unserer Mitglieder waren unermesslich schwer betroffen, unser Büro war vollkommen zerstört.

Wir erinnern uns stets mit Dankbarkeit an die Anteilnahme und Unterstützung, die wir aus Deutschland und Japan von den Deutsch-Japanischen und den Japanisch-Deutschen Gesellschaften damals erhielten und hoffen auf einen baldigen Wiederaufbau der betroffenen Regionen in Hokuriku.

Das letzte Jahr brachte für unsere Gesellschaft die, man kann sagen, größten Veränderungen seit der Erdbebenkatastrophe in Kobe. Aufgrund finanzieller Probleme, die vor allem durch das langanhaltende Corona-Desaster verursacht worden waren, mussten wir unser Büro, welches sich für mehr als 60 Jahre im Kobe International House befand, verlegen. Sofort nach dem Umzug wurden die Deutsch- und Kulturkurse wieder aufgenommen, Veranstaltungen, wie das Bierfest, die Weihnachtsfeier und andere Aktivitäten unserer Mitglieder konnten in die Tat umgesetzt werden. Unser herzlicher Dank gilt allen in der Gesellschaft, sowie all den anderen am deutsch-japanischen Austausch interessierten Personen, ohne deren Mitwirkung und Unterstützung dies alles nicht möglich gewesen wäre.

Der internationale Austausch, so auch der Austausch zwischen Deutschland und Japan, hat wieder das Niveau der Zeit vor Corona erreicht. Doch war auch dieses Jahr von politischen, wirtschaftlichen und sozialen Unsicherheiten betroffen. Russlands Einmarsch in der Ukraine, Eskalationen der Konflikte in Nahost, Demokratien, die dem Einfluss von Verschwörungstheorien ausgesetzt sind, der Klimawandel mit den Dürren, Waldbränden und Überschwemmungskatastrophen, die er verursacht, - die Welt steht vor Problemen, für die es in absehbarer Zeit keine Lösungen zu geben scheint. Aber gerade in solchen Zeiten zeigt sich auch der wahre Wert von Völkerverständigung und internationaler Zusammenarbeit. Voraussetzung dafür ist jedoch das Sammeln und Verbreiten richtiger Information. Deutschland ist ein zentrales Land in Europa. Unsere Gesellschaft versucht über Deutschland Europa näher zu kommen und zu verstehen. Das ist unser Anliegen und diesem sollen auch all unsere Bemühungen im Neuen Jahr gelten. Wie immer möchte ich alle Mitglieder um ihr Verständnis, ihr Mitwirken und um ihre Unterstützung bitten!

主催行事案内

神戸日独協会 「早春コンサート」

神戸日独協会では、毎年会員と会員のご友人によるコンサートを開催してきましたが、2020年以降コロナ禍の為中断していました。その後状況も少し落ち着いてきましたので、本年3月17日(日)に再開することに致します。今回のテーマは、「春」で、早春にふさわしい曲をお届けします。

また、長年当協会のドイツ語講座を担当して頂いているマティアス・クーセギ先生にも特別出演をして頂きます。多数の皆様のご来場をお待ちしています。

プログラム(予定)

ピアノ 福田可織さん モーツァルト アヴェ・ヴェルヌ・コルプス KV.618
モーツァルト グルックの「メッカの巡礼」の“愚かなる民の思うは”による10の変奏曲 KV.455

ビオラ 後藤彩子さん メンデルスゾーン 春の歌 Op.62-6(ビオラ版)
シューマン おとぎの絵本 Op.113

ピアノ 上杉恵一さん メンデルスゾーンの無言歌集30番・作品62-6 春の歌

バイオリン 上杉恵一さん バッハ 無伴奏バイオリン・パルティータ第3番のガボット

マティアス・クーセギさん 歌 ハンガリーのフォークソング、トランシルヴァニアの歌
楽器演奏 アフリカの打楽器 ジェンベ と ウドゥ

日時 : 2024年3月17日(日) 15:00 開演 (14:45 開場)

会場 : 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部 2F のホール(神戸日独協会と同住所内)

会費 : 会員とご家族・ご友人 1000円 / 一般 1500円

会費は、銀行振込・郵便振込、もしくは当日会場でお支払いください。

銀行振込 三井住友銀行 神戸営業部 普通 8004770

郵便振込 記号01160-9 番号18199

口座名義・加入者名 とともに、特定非営利活動法人神戸日独協会

チケット予約 : 2024年3月8日(金)までに、神戸日独協会事務局までご連絡ください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-mail: info@jdg-kobe.org

映画会のご案内

『フェモクラシー 不屈の女たち』(原題 „Die Unbeugsamen. Mit den Pionierinnen der Bonner Republik”)(日本語字幕版) 監督トルステン・ケルナー, 2021年, 104分

ご存じのように現在ドイツの外務大臣は女性でアネレーナ・ベアボックという方です。では女性の大臣にはどのように呼びかけたらよいのでしょうか? „Herr Minister“, „Herr Ministerin“, „Frau Minister“, „Frau Ministerin“? 映画「フェモクラシー」は原題が示すように、戦後の(旧西)ドイツ連邦議会で「政治や権力は女性に向かない」という風潮と圧倒的な数の男性議員のなかで、男女平等に基づく民主的な政策決定を求め活動してきた女性議員たちを描いた記録映画です。そこから彼女たちが、時に所属政党等を越えて戦い・協力していった様子が伝わり勇気を与えてくれます。「政治はとても重要なことなので、男性だけに任しておくわけにはいかない」(Käte Strobel, 1966—1972 連邦大臣)。3月8日は「国際女性デー」です。ドイツでのオープニング試写会の際にはメルケル元首相が挨拶をされました。当協会の上映会ではメラニー・ザクシンガー・ドイツ総領事が挨拶をされる予定です。この映画会は東京ドイツ文化センターの協力を得て開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 3月23日(土) 15:00～16:30

場所： 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部2階ホール

参加費： 無料

ドイツ文化サロン

第19回 『ロシア映画と映画祭に魅せられて』

コロナ禍で中断していましたドイツ文化サロン『女性が支える国際交流』を昨年9月に再開しました。

今回お話しいただくのはロシア映画の紹介者で研究家の扇 千恵さんです。

扇さんはもともとセルゲイ・エセーニンを中心にロシアの詩文学を研究されていましたが、1986年タシケントの映画祭に参加し、多様な映画の面白さと、映画祭の楽しさに惹かれて、以来、映画の研究並びに紹介をされています。モスクワ国際児童青少年映画祭、ウラジオストック国際映画祭には何度か審査員として招かれました。ロシア映画の魅力、映画祭の魅力、映画人との交流などについてお話しいただきます。オリンピックの棒高跳びで活躍したブブカ選手の通訳を10年間務め、ブブカ選手から「大阪のお母さん」と呼ばれています。

・講師： 扇 千恵(おうぎ ちえ)さん

大阪大学・同志社大学などでロシア語講師を歴任

「ロシア映画を勉強する会」(神戸元町映画館)主催

著書(翻訳)『ソヴェート映画史 七つの時代』(ネーヤ・ゾールカヤ著)

『タルコフスキイの映画術』(アンドレイ・タルコフスキイ著)

- ・日 時: 2024年2月16日(金)14:00~16:00(開場13:45)
- ・会 場: 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部レストラン
- ・会 費: 1500円(ケーキと飲物代)
神戸日独協会会員及び家族1300円 当日受付にてお支払いください。
- ・申 込: 2月14日(水)までに事務室にメール・電話・Fax でお申し込みください。
Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail: info@jdg-kobe.org

ドイツ歌声サロン

昨年10月より「ドイツの歌を歌う会」が復活しています。

この会は、協会主催「ビアフェスト」などでお馴染みの岩島佳子さんを講師として、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌や映画音楽(リリーマルレーン、会議は踊るなど)、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

2月は引き続き、Edelweiß (エーデルヴァイス)、Das Kufsteiner Lied (Die Perle Tirols) (クフシュタインの歌(チロルの真珠))、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講 師: 岩島 佳子さん

日 時: 2024年2月10日(土) 13:30~15:00

場 所: 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部教室

参加費: 2000円

参加条件: 一般公開ですので、神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語を知らない方もご配慮しますので、是非ともご参加ください。

申 込: 事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail: info@jdg-kobe.org

「ドイツ歌声サロン」に参加して

沼田 直子

1月13日(土)に「ドイツ歌声サロン」に参加しました。昨年10月の初参加以来2回目の参加となります。歌うことが大好きで会員の家族からこの活動を紹介されたときに、「きちんとドイツ語で第九を歌ってみたい」と思い参加することにいたしました。

ドイツ語はほとんど解りませんが、いただいた楽譜にはドイツ語の歌詞にカタカナが表記され、更に日本語訳もありとても判りやすいと感じました。

岩島先生のご指導のもと、「エーデルワイス」、「クフシュタインの歌」、「第九」を歌いました。ドイツ語の「エーデルワイス」は日本語のそれと比べて少しメリハリが効いているように感じました。そして案外歌いやすく、岩島先生の仰るようにいつか二部合唱で歌えれば素敵だなと思いました。次に「クフシュタインの歌」ですが、チロルの真珠と称される美しいクフシュタインの町のことを表現した歌です。私はこの歌を知りませんが、ドイツでは非常に有名で、ビールをのむときには皆で肩を組んで歌うそうです。体が自然に左右に揺れてしまう明るく楽しい曲です。ヨーデルの部分があり、そこは難しくてまだ上手に歌えませんが、早くマスターしたいと思います。そして、「第九(歓喜の歌)」ですが、歌っていてとても気持ちがよく、体の奥からエネルギーが溢れてくるように感じます。まだまだうまくありませんが憧れの曲をドイツ語で歌える機会があることを大切にしようと思います。

次回も岩島先生、他のメンバーの方々と一緒に歌えることを楽しみにしています。

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

11月より手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めは磁器への絵付けの基礎講座として、急須などの和風ティーセットに転写紙による絵付けを教えていただきます。

初めて参加の方はマグカップや小皿を、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講 師：堀田真美子さん

日 時：2月25日(日)14:00~16:00

場 所：神戸日独協会事務室

会 費：初心者1000円、継続者3000円(材料費+窯焼き代+道具使用料)

参加条件：一般公開ですので、神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申 込：事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail : info@jdg-kobe.org

2月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。昨年8月より会員の参加を得て、協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時：2024年2月10日(土)15:00~17:00

場 所：神戸日独協会事務室兼会議室

話 題：2月以降及び新年度の事業予定、協会の発信について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

ドイツ語談話室

第230回ドイツ語談話室

日時：2023年12月16日(土) 14-16時

場所：KR&AC内 神戸日独協会会議室

テーマ：ワイン

今回の司会は川見正之氏が担当され、この11月にボジョレーヌーボーを初めて買った話をされた。360cc入りの小瓶にアルコール度数13%のワイン。9月に収穫されたブドウとして、2か月足らずで発酵させて日本に送り、11月の第3木曜日に販売を始めるという。この短い期間で熟成された若いワインで、味は軽くて飲みやすい。日本ではとても人気で、販売戦略としてはとてもうまくやっていると思われる。

以下に、参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

—果たして、2か月足らずで完成したワインとなるのだろうかと思う。何か添加して熟成を強制しているのではないか、と思う。

—ボジョレーヌーボーだけでなく、多くの国でもその土地のヤングワインがある。ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、スイス、他でも各地にヤングワインが作られている。

—ワインのラベル(エティケット)には、そのワインの情報が多く書かれている。ドイツワインの場合、そのワインの決められた等級も表示されている。

—アルコールは飲まなくワインの種類など知らないの、ドイツで客人をレストランに招待した時は困った。ワインカルテの中から値段で見当をつけるしかなかったが、店側はいつも値段の高い物ばかり勧めてきた。

—ニュージーランドに旅行した折、ピノノワールを初めて飲んだが、とても料理に合って美味しかった。またニュージーランドの白ワインも良かった。

—ワインの試飲会に参加したが、とても楽しかった。種類の違ったいくつかのワインを比べるのだが、それぞれの外観、香り、味わいを確かめる。一つのワインを少し口に含み、じっくりと確かめたら吐き出して次のワインに挑戦する。また、ワインセラーやワイン畑を見て回るのも楽しかった。

—自分の好きなワインは、アルザス地方のゲビュルトラミネだが、ドイツのモーゼル地方でも作られている。また、チリ産のゲビュルトラミネも多く輸入されており、品質が良く値段はとても安い。

—日本では昔から「酒の肴」と言って、酒に添えて出される料理が酒のおいしさを引き立ててくれるのだが、ヨーロッパでは、ワインならワインだけ、ビールならビールだけを楽しむ人が多いようだ。

今後のドイツ語談話室の予定

第232回 2024年2月17日(土) 14-16時 テーマ：気候変動と環境保護

Protokoll der 230. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 16. Dezember 2023, 14 bis 16 Uhr Thema: Wein

Dieses Mal hatte Herr Masayuki Kawami die Gesprächsleitung und erzählte von seinem ersten Kauf eines Beaujolais Nouveau im vergangenen November, einer kleinen Flasche mit 360cc und 13% Alkoholgehalt. Da die Trauben erst im September geerntet worden waren, wurden sie in weniger als zwei Monaten vergoren und nach Japan verschickt, wo der Verkauf am dritten Donnerstag im November begann. Dieser junge Wein, der in dieser kurzen Zeit gereift ist, schmeckt leicht und somit auch jenen, die keine großen Weintrinker sind. Er ist in Japan sehr beliebt, die Verkaufsstrategie scheint sich zu bewähren.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Ein Teilnehmer bezweifelt, dass der Beaujolais Nouveau in weniger als zwei Monaten wirklich zu einem fertigen Wein werden kann. Er glaubt, man füge ihm etwas zu, um ihn zum Reifen zu bringen.
- Ein Teilnehmer wendet ein, dass es außer dem Beaujolais Nouveau auch noch viele andere junge Weine gibt. Deutschland, Österreich, Italien, Spanien, die Schweiz und sicher auch noch andere Länder produzieren ebenfalls junge Weine.
- Eine Teilnehmerin erklärt, dass Weinetiketten viele Informationen über den Wein enthalten. Bei deutschen Weinen wird auch eine klar definierte Qualitätsstufe angegeben.
- Einer der Teilnehmer trinkt keinen Alkohol und kennt sich daher bei den verschiedenen Sorten überhaupt nicht aus. Als er in Deutschland Gäste in ein Restaurant einlud, kam er hierbei in Schwierigkeiten. Ihm blieb nichts anderes übrig, als anhand der Preise auf der Weinkarte einen passenden Wein zu erraten. Die Restaurants empfehlen immer nur die teuersten Weine.
- Auf einer Reise nach Neuseeland trank eine Teilnehmerin zum ersten Mal einen Pino Noir und fand ihn köstlich. Er passte sehr gut zum Essen. Auch neuseeländischer Weißwein ist sehr gut.
- Eine Teilnehmerin nahm einmal an einer Weinverkostung teil, was ihr sehr gut gefiel. Sie konnte verschiedene Weinsorten, von denen jede ein eigenes Aussehen, Aroma und Geschmack hatte, verkosten. Bei einer Verkostung nimmt man einen kleinen Schluck von einem Wein, prüft ihn gründlich, spuckt ihn aus und probiert den nächsten. Sie fand es auch interessant, sich in den Kellern und Weinbergen umzusehen.
- Der Lieblingswein eines Teilnehmers ist Gewürztraminer aus dem Elsass. Gewürztraminer wird auch in der Moselregion in Deutschland hergestellt. Außerdem gibt es Importware aus Chile, die ebenfalls von guter Qualität und überdies sehr preiswert ist.
- Ein Teilnehmer erklärte, dass in Japan seit jeher Speisen zum Sake gereicht wurden, die man als „sake no sakana“ („Häppchen zum Sake“) bezeichnete. Sie sollten den Geschmack des Sake noch hervorheben. In Europa scheint es vielfach üblich zu sein, Alkohol auch ohne zusätzliches Essen zu genießen.

Nächste Treffen:

Samstag, 17. Februar 2024, 14 bis 16 Uhr. Thema: Klimawandel und Umweltschutz

ドイツ新事情 —Deutsche Welle の記事から—

2023年の Unwort ”Remigration”

会員 柘田 節子

2023年の Unwort 「不快で粗悪な言葉」としてラテン語起源の”Remigration” (Zurückweisung)が選出されました。この語は、ラテン語動詞 remigrare (zurückwandern, zurückkehren) から派生された外来語として、移民研究(Migrationsforschung)から生まれた概念で「外国で人生の一時期を過ごした後に再び祖国へ帰還すること」を意味し、「亡命・国外追放・移民先からの帰国」を表しています。しかし極右の人々はこの語を「右翼の闘争概念(rechter Kampfbegriff)」として、本来の意味とは違う「非人道的な排除・排斥」の意味で政治の場で「意味を捻じ曲げて」使用したことが批判されて、Unwort に選ばれました。この語は、民族的なグループ化を主張して自らを「民族的多元主義」の中に位置づけるとする「アイデンティタリアン運動(Identitäre Bewegung)」の中で、右派から極右の人たちによって「難民を元居た場所へ押し戻すこと」を象徴する言葉として、「強制帰還(Zwangsausweisung)」、「集団国外追放(Massendeportation)」の婉曲語法(Euphemismus)として使用されてきました。今年のゲスト審査員 CDU の前書記長ループレヒト・ポーレンツ Ruprecht Polenz は、この語が「AfD の民族主義的な国粋主義者たちによって、彼らの本当の意図を覆い隠すために用いられた」ことを指摘しています。以前から反移民政策を掲げている AfD「ドイツのための選択肢」も参加した極右の人々の本当の意図「移民・難民の追放計画」が話された11月のポツダムでの秘密会談が調査ニュースサイト「コレクティブ Correctiv」により暴露され、この極右の「本当の意図」を一般市民も知ることになりました。「ドイツの市民権を持っていても、肌の色の異なる人やドイツ文化に同化していない人らを追放する」という本当の意図を受けて、1月下旬ドイツで「極右政党の移民政策」に抗議する大規模デモが起こり、日本でも報じられました。報道では”AfD-Verbot Sofort”「直ちに AfD の政党禁止を」のプラカードを掲げた画像も映し出されていました。DW の記事は、現在の形式で Unwort が初めて発表された1991年の Unwort は”ausländerfrei (外国人のいない)”であり、これも右派の闘争概念として用いられていたと結んでいます。

ちなみに Unwort の第2位は収入や資産の少ない人々を誹謗する意味合いで使用された Sozialklimbim (社会定なバカ騒ぎ)、第3位は気候変動対策に反対するポピュリスト的な世論操作に使用された Heizungs-Stasi (暖房シュタージ)でした。

Deutsche Welle: Wie Rechtsextreme den Begriff „Remigratin“ kaperten (15. 01. 2024)より。

(このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています)

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。ご投稿をお待ちしています。今月は休載します。(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

今回の印刷と発送は2月22日(木)を予定しています。是非ともご協力をお願いいたします。

印刷：ひょうごボランティアプラザ(神戸市中央区東川崎町1-1-3、
JR神戸駅南の神戸クリスタルタワー6階)の印刷室にて。9:00~11:00

発送：神戸日独協会事務室にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

行事等の写真について

会報では輪転機印刷のため写真等の掲載は略させていただきます。協会ホームページ及びSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。

| | | |
|---|---|---|
|  <p>ホームページ Homepage</p> |  <p>インスタグラム Instagram</p> |  <p>X Twitter</p> |
|---|---|---|

これからの神戸日独協会の催し

| 日時 | 催し | 会場 | 申込〆切 など |
|-------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------|
| 2月10日(土) 13:30~15:00 | ドイツ歌声サロン | 神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部教室 | 2月9日(金)まで |
| 2月10日(土) 15:00~17:00 | 企画委員会 | 神戸日独協会事務室 | 当日参加可 |
| 2月16日(金) 14:00~16:00 | ドイツ文化サロン 「ロシア映画と映画祭に魅せられて」 | 神戸リガッタ・アンド・アスレ ティック倶楽部レストラン | 2月14日(水)まで |
| 2月17日(土) 15:00~17:00 | ドイツ語談話室 | 神戸日独協会事務室 | 当日参加可 |
| 2月25日(日) 14:00~16:00 | ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ) | 神戸日独協会教室 | 2月21日(水)まで |
| 3月17日(日) 14:00~16:00 | 神戸日独協会 「早春コンサート」 | 神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部ホール | 3月8日(金)まで |
| 3月23日(土) 15:00~16:30 | 映画会 『フェモクラシー 不屈の女たち』 | 神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部ホール | 3月21日(木)まで |